



平成29年度の家庭系ごみの排出量などをお知らせします

廃棄物対策課 ☎ 382-7609 📠 382-2214 ✉ haikibutsutaisaku@city.suzuka.lg.jp

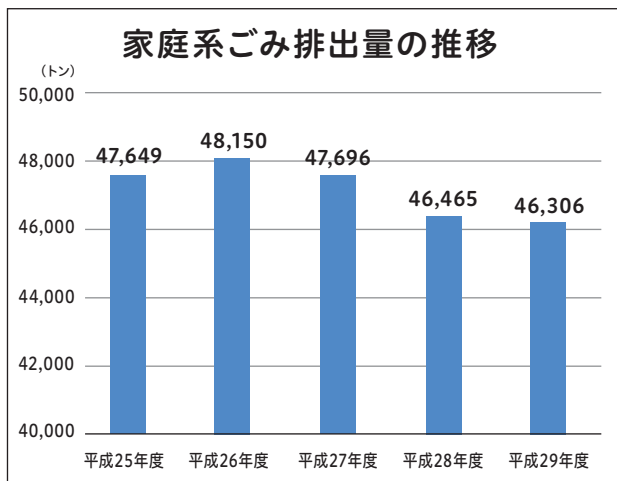
マスコットキャラクター「クリン」
鈴鹿市不法投棄対策連絡会議

環境への負荷が少ない資源循環型社会をつくるために、本市ではごみの減量とリサイクル率の向上について、皆さんにご協力をお願いしています。今回は、平成29年度の家庭系ごみ排出量とリサイクル状況についてお知らせします。

家庭系ごみ排出量が減少しました

平成29年度の家庭系ごみ排出量は、前年度に比べて約159トン減少し、46,306トンとなりました。これで3年連続の減少となります。

引き続きごみ減量に向けて、食材は無駄なく調理するなど、取り組みを行いましょ



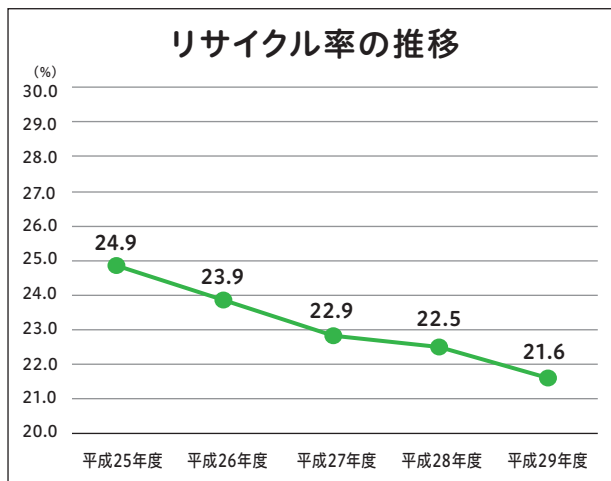
※平成29年度の家庭系ごみの排出量は、市民1人で1日あたり632グラム（週刊誌1冊分の重さ）を出していることとなります。

リサイクル率は低下しています

平成29年度は21.6%となり、前年度に比べて0.9%低下しました。

「混ぜればごみ、分ければ資源」です。

限りある資源を有効活用し、資源循環型社会を推進するため、ごみと資源の分別を引き続き行い



※リサイクル率とは、ごみとして出されたものが資源として再利用された割合です。

さらなるごみの減量・資源化のために

●生ごみは水気を切ってから出しましょう

生ごみのうち約80%は水分です。特に夏場は十分水を切ることで、臭いも減少し、ごみの分量も軽くなります。



●雑がみは資源ごみとして分別しましょう

お菓子の空き箱などの雑がみ類は資源になります。平らにたたんで資源ごみA「雑誌・雑がみ」として出してください。また、小さな紙は雑誌の間に挟んで出してください。



※ごみ減量とリサイクルをさらに進めるために、引き続き皆さんのご協力をお願いします。